

A. 主な動き

1. 経済

▼EU関係

・26日、ピエバルクス開発担当欧州委員は、モルドバ・EU協力会議において、欧州近隣政策(ENP)プログラムを通じてモルドバに対する2,800万ユーロの追加供与が決定した旨発表。

2. 外交

▼ティモフティ大統領のトルコ訪問

・25日、ティモフティ大統領は、トルコを訪問し、ギュル大統領と会談。双方は、両国間査証免除及び自由貿易圏創設に関する交渉の終了を歓迎し、投資を含む経済関係の強化に関し協議。ガガウズ問題に関しては、ギュル大統領は、ガガウズ自治区はモルドバとトルコの友好の架け橋である旨述べ、ティモフティ大統領は、モルドバの欧州統合に対しガガウズ人の支持を期待している旨表明。

・26日、ティモフティ大統領は、イスタンブールにおける黒海経済協力機構(BSEC)首脳会議に出席し、モルドバは「エネルギー回廊」及び環黒海高速道路等のBSECプロジェクトに関心がある旨発言。

・同日、同大統領は、サーカシヴィリ・グルジア大統領と会談し、欧州統合、貿易及び教育分野における協力に関し協議。

▼レアンカ外務・欧州統合相のベルギー訪問

・25日、レアンカ外務・欧州統合相は、第6回モルドバのための欧州アクショングループ会合に出席するためブリュッセルを訪問。同会合では、モルドバ・EU連合協定に関する交渉過程、DCFTA創設及び査証免除に関する行動計画の実施状況等に関し協議。EU側は、あらゆる分野において欧州基準に近づけるための改革の速度を維持するようモルドバ政府に対し呼びかけ。

▼ルプ議会議長のベラルーシ訪問

・25日、ルプ議会議長は、ベラルーシを訪問し、ルビノフ上院議長及びアンドレイチェンコ下院議長と会談。双方は、両国の政治、貿易・経済、科学及び文化関係の活性化に関し協議の後、政治、社会、経済及び人文分野における関係強化を目的とした両国議会間協力協定に署名。

・26日、ルプ議会議長は、ミンスク・トラクター工場を視察。同日、同議長は、ミヤスニコフ・ヴィチ首相と会談し、雇用の創出を目的とした多国籍企業創設の問題に関し協議。ミヤスニコフ・ヴィチ首相は、トラクター、トロリーバス及び農業機械の組み立て企業を、ルプ議長は、ワイン醸造企業の設立を

提案し、右実現に向けた法整備の重要性を強調。

▼モルドバ・EU協力会議

・26日、モルドバ・EU協力会議がブリュッセルにて開催され、フィラト首相、カッラス欧州委員会副委員長(運輸担当欧州委員)、チョロシュ農業・農村開発担当欧州委員及びソウンダー理事会議長(デンマーク外相)によりEU及び同加盟諸国とモルドバとの共通航空空域協定及びモルドバとEUの農産物及び食料品の原産地証明に関する協定への署名が行われた。フィラト首相は、両協定の署名はモルドバの欧州航空市場への統合及びDCFTA締結への重要な一歩である旨発言。ソウンダー議長及びピエバルクス開発担当欧州委員は、2011年5月の前回会合以降のモルドバ・EUの関係発展及び沿ドニエストル紛争解決に向けた動向を高く評価し、EUはモルドバにおける改革の支持を継続する旨発言。また、マルムストローム欧州委員は、モルドバとEUの査証免除化交渉が第二段階へ移行した旨宣言。

▼フィラト首相のベルギー・ルクセンブルク訪問

・26日、ブリュッセルにおいて、フィラト首相は、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長と会談。両者は、モルドバの欧州統合及び沿ドニエストル問題等に関し協議。ファン＝ロンパイ議長は、モルドバは欧州の価値及び基準に一層近づいてきた旨発言。同日、同首相は、フューレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員との会談において、モルドバの改革へのEUの支援に対し謝意を表明。同首相は、また、エッティンガー・エネルギー担当欧州委員と会談し、モルドバのエネルギー供給源の多様化等に関し協議。

・26日、フィラト首相は、ルクセンブルクの欧州投資銀行本部を訪問し、モルドバの送電線整備のための1,700万ユーロの融資に関する協定に署名。同日、同首相は、ベッテル・ルクセンブルク市長と会談し、ルクセンブルクとの投資を含む経済関係強化に関心がある旨発言。両者は、10月の「ルクセンブルクにおけるモルドバ週間」の実施に関し協議。

3. 沿ドニエストル

・23日、「最高会議」の最大政党である「改新」党は、党大会を開催しブルラ「最高会議議長」を同党党首に選出。

4. 防衛

・27日、マリニツァ国防相は、各国駐在武官との会合において、防衛分野における各国との協力関係の発展・強化を望むとともに、NATO主導による平和維持活動等の任務に参加する準備ができている旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)